

Kakashi Drone Meeting

実施規則

令和3年6月26日

1 参加資格

レース開催時に年齢が9歳以上であり、アマチュア無線4級以上の国家資格を所持していること。

レースに使用する画像伝送無線機器を運用するためのアマチュア無線局を開局していること、または社団局に所属していること。

2 運営

今イベントは AkitaDroneClub が大会進行とジャッジを行う。運営の競技員は NPO 法人ソーシャレック、AkitaDroneClub から選出する。競技員は選手が兼ねることができる。

3 安全対策

- (1) 観戦者や競技者に対して5m以内をドローンが飛行することがないように間隔を取る。フェンスやネット等で安全対策を施したエリア（観戦・操縦等）を確保する。
- (2) 会場でバッテリーを充電する際は火災等の事故を予防するためリポバック等安全対策を取ること。
充電用商用電源の提供は確約できないため、会場で充電する場合は参加者が準備をする。
- (3) 競技者はラジコン保険(任意保険可)に加入することを義務付ける。

4 競技規則

- (1) 競技者は最大2機まで機体検査の登録をすることができる。競技に使用する機体は競技者が所有するものとし、他の競技者との共用は認めない。
- (2) 機体検査では次の事項について検査する。
 - ① 機体の重量（バッテリーを含む飛行重量が200g未満）
 - ② VTXの周波数変更が可能なこと
 - ③ 注意事項への同意
- (3) 機体の修理などでパーツ構成や重量に変更がある場合は再検査が必要となる。
- (4) フライト方法
 - ① ドローンは最大3機同時に飛行を開始しレースを行う。
 - ・練習ステージ、予選ステージと決勝ステージに分かれる。
 - ・予選ステージは最低1ラウンド最大3ラウンド行う。
 - ・予選ステージの結果により決勝ステージへ進出となる。
 - ・決勝ステージは2機同時飛行のトーナメント戦とする。
 - ② スタート後のコース内への立ち入りは認めない。機体の反転やトラブル、バッテリー切れなどで飛行の継続が困難となった場合はその時点までの飛行距離を記録とする。

(5) 機体レギュレーションは次のとおりとする。

- ① バッテリーを含む、最終的に飛行する時の重量が 200g 未満であること。
- ② 利用するモーターおよびバッテリー、フレームは制限を設けない。
- ③ フェールセーフ設定により電波が遮断された後、3 秒以内にモーター停止すること。
- ④ VTX(映像送受信システム)は大会中に周波数をいつでも変更できるようにすること。周波数の変更方法は大会の円滑な進行のため熟知しておくこと。原則として、利用する周波数は 5705MHz (E1)、5740MHz (F1)、5800MHz (F4) の 3 チャンネルとし、最大出力は 200mW 以下に設定すること。開局手続きが完了している VTX を使用すること。
- ⑤ FPV 映像内に受信された映像で選手を判断できる識別マークの表示を行うこと。識別マークはアマチュア無線のコールサイン、名前やニックネームなどとする。
- ⑤ コントローラーは技術基準適合証明がされたものを使用すること。

(6) コースの公開

コース図案は当日発表することとする。

新型コロナウイルス感染症対策

(1) 競技者が以下の事項に該当する場合は、参加の見合わせを求めます。

- ① 体調がよくない(例:発熱 37.5°C 以上・咳・頭痛などの症状) 場合
- ② 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方が居る場合
- ③ 緊急事態宣言、まん延防止等重点措置実施の都道府県と 2 週間以内に往来がある場合

(2) 競技大会当日の対応

- ・競技者はマスクの着用を義務づけます。
- ・こまめな手洗い、手指消毒を行ってください。
- ・感染防止のため、実行委員会で定める対応に従ってください。
- ・受付窓口には、手指消毒剤を設置します。
- ・発熱等ある場合は入場できません。(当日は受付前に検温をお願いします)
- ・参加者はもちろん、スタッフにおいてもマスクの着用を義務づけます。

(3) その他

感染拡大状況により、急遽中止と判断する場合があります。会場受付時に体調確認を行います。 37.5°C 以上の発熱、発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合は大会に参加することはできません。会場ではマスク着用をお願いいたします。